

■平成21年度 定期総会

当会の平成21年度定期総会が、去る4月16日(木)16時30分より、宇都宮市上大曾町の「ホテル東日本宇都宮」にて開催されました。

総会は田中副会長の司会で定刻どおり開会となり、溝田会長のあいさつと、ご来賓の栃木県保健福祉部薬務課の薄井仁一課長の紹介とあいさつの後、優良従業員の表彰式を行いました。この表彰式は、当会会員である各企業において、長年、従業員として勤務し、その成績が模範となる方を、定期総会の席上で表彰するものです。田中副会長の受賞者選考経過説明の後、溝田会長より受賞者17名へ表彰状と記念品が贈呈されました。



表彰式終了後、議事に入りました。当会の規約により溝田会長が議長となり、まず、事務局から出席者の報告(正会員56社のうち、出席30社、委任状提出14社)があり、総会が成立していることが確認されました。議長が議事録署名人2人(三和生薬・岡田氏、ナカニシ・金子氏)を指名したのち、第1号議案「平成20年度事業報告」と第2号議案「平成20年度収支決算報告」が一括上程され、坂ノ上監事の監査報告の後、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。

続いて第3号議案「平成21年度事業計画(案)」と第4号議案「平成21年度収支予算(案)」についても同様に原案どおり可決されました。

その後、事務局から、昨年栃木県で開催された第44回献血推進全国大会において献血運動に多大の貢献があったとして、日本赤十字社から「金色有功賞」をいただいたとの報告があり、定期総会が閉会しました。



溝田会長あいさつ



薄井薬務課長あいさつ

優良従業員表彰受賞者一覧 (敬称略)

勤続30年以上

栄研化学(株)	八木 裕彰	不二テックス(株)	藤田 幸彦
(株)シーボン	軽部 俊恵	HOYA(株)	斉藤 貞雄
田辺三菱製薬工場(株)	角屋 菊丸	HOYA(株)	上野 洋子
田辺三菱製薬工場(株)	山根 常夫		興和(株)
不二テックス(株)	大柿 茂司		興和(株)

勤続20年以上

ケラクソ・スマスケイ(株)	山本 孝雄	(株)シーボン	杉山 文江
ケラクソ・スマスケイ(株)	秋元 光則	(株)シーボン	平 豊朗
須藤 由紀	日本プロテイン(株)	定方 かすみ	
高木 香織	日本プロテイン(株)	酒井 紀幸	
	日本プロテイン(株)	黒田 敏之	

勤続10年以上

新役員あいさつ

新たに就任された理事の方々からご挨拶をいただきました。

中外製薬工業株式会社 高畠 久幸 様



この度、平成21年7月より前任の町田より引き継ぎ、栃木県薬事工業会の副会長を務めさせて頂くことになりました、中外製薬工業㈱宇都宮工場長の高畠です。

当、宇都宮工場は1989年の操業開始以来、一貫して注射剤の原薬、製剤の製造を行っております。近年では、国産初の抗体医薬品でありますアクテムラの自社開発に成功し、昨年より関節リューマチの治療薬として原薬～製剤・包装まで当工場で製造しております。

今後、薬事工業会発展のため微力ではございますが責務を果たしていく所存であります。

薬務課並びに薬事工業会のみなさまのご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

グラクソ・スミスクライン株式会社 祖徳 嘉 様



この度、前任の佐藤から引き継いで栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、グラクソ・スミスクライン㈱今市工場の祖徳（そらい）です。

弊社今市工場は、日本で唯一のグラクソ・スミスクライングループ生産工場として、錠剤および他製剤の製造・包装を中心に生産活動を行っております。

一方で海外で製造された医薬品の日本への供給拠点としての役割も担っており、日ごろより薬務課、そして薬事工業会の皆様には多大なご指導・ご支援を賜っております。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ではありますが、理事としての職務を果たしてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

全薬工業株式会社栃木工場 坂ノ上 君雄 様



この度、前任の遠藤から引き継いで監事を務めさせていただくこととなりました、「かぜにジキニン」でお馴染みの全薬工業㈱栃木工場の坂ノ上と申します。

弊社栃木工場は、昭和60年に東京の練馬から黒羽に移転し、医療用医薬品、OTC医薬品及び化粧品等を製造しています。

私自身も移転と同時に大田原市に移り住み、この恵まれた自然豊かな公園工場で「安全第一、品質第一」をモットーに医薬品の製造に携わって参り、本年4月より工場長を務めております。

薬事工業会並びに県薬務課の皆様には何かとご指導をいただくことが多いかと思いますが、微力ながら監事として勤めさせていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

どうぞ宜しくお願ひ致します。

平成21年度 栃木県薬事工業会役員一覧（敬称略）

役職名	氏名	会社名	役職名	氏名	会社名
会長	溝田 雅洋	持田製薬工場(株)	理事	内藤 勉	栄研化学(株)
副会長	高畠 久幸	中外製薬工業(株)	理事	坂倉 浩夫	田辺三菱製薬工場(株)
副会長	田中 哲好	久光製薬(株)	理事	徂徠 暢	グラクソ・スミスクライン(株)
副会長	松谷 正光	マニー(株)	理事	富永 英夫	ジェーピーエス製薬(株)
監事	脇 義博	花王(株)	理事	塚原 澄子	(株)シーボン
監事	栄谷 治	興和(株)	理事	古川 浩	東芝エディカルシステムズ(株)
監事	坂ノ上君雄	全薬工業(株)	理事	村田 友次	日本サーファクト工業(株)
			理事	戸室 圭三	日本理化学薬品(株)
			理事	土井 克彦	フォルケロウメデイカル(株)
			理事	小野塚文雄	不二ラテックス(株)

事務局職員の紹介

転出			転入		
役職名	氏名	転出先	役職名	氏名	前所属
技術部長	八島 利光	栃木県赤十字血液センター	課長補佐(総括)	高山 尚志	薬務課温泉薬物対策担当
部長補佐(総括)	森川 博夫	県南健康福祉センター	課長補佐	斎藤 篤雄	県北健康福祉センター
試験検査課長	加藤 治	県北健康福祉センター	副主幹	小林 由典	県東健康福祉センター

■平成21年度 一般会計収入支出予算

定期総会で可決された当会の平成21年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部

科 目	予 算 額
1 会 費	5,514,000
2 県からの受託金	450,000
3 事 業 収 入	50,000
4 雑 収 入	5,089
5 繰 越 金	2,900,911
収入合計	8,920,000

支出の部

科 目	予 算 額
1 会議費	900,000
2 定期総会	650,000
3 理事会等	250,000
2 事務費	2,950,000
1 職員費	2,050,000
2 事務費	850,000
3 事務局活動費	50,000
3 事業費	3,420,000
1 研修会費	1,870,000
2 表彰費	250,000
3 啓発費	550,000
4 会報発行費	300,000
5 災害時避難所常備薬備蓄事業費	450,000
4 負担金	250,000
1 事務所負担金	200,000
2 各種協議会等	50,000
5 記念大会等準備積立金	100,000
6 予備費	1,300,000
支 出 合 計	8,920,000

平成21年度 薬草教室の開催

去る5月24日(日)に、県薬務課主催の平成21年度薬草教室(薬草観察会)が、佐野市(みかも山公園ハーブ・薬草園)で開催されました。

本事業は薬用植物の普及啓発を目的として実施しているもので、薬事工業会でも協賛している事業です。

当日は、休日で小雨の降るあいにくの天気にもかかわらず、大変多くの参加者が集まりました。

みかも山公園は、佐野市と岩舟町にまたがる三毳山の一部を利用した栃木県の県営都市公園の一つで、標高25m～209mと高低差があり、アカマツ、クヌギ、コナラなどの樹木に囲まれた自然豊かな公園です。園内の展望台からは渡良瀬遊水池、快晴の日には東京の高層ビル群、富士山、筑波山、日光連山、上州の山々を眺められるそうです。

薬草教室を行ったハーブ・薬草園には約100種類の薬草・薬木が植えられており、四季折々の香りと色彩を楽しむことのできる公園です。

当日は、講師として和田浩志氏(東京理科大学講師)及び小村健太朗氏(日本大学薬学部薬用植物園助手)の2人をお招きました。講師の先生と共に2班に分かれ、約1時間にわたり園内の観察会を行いました。降っていた雨もやんて参加者の皆さんは楽しそうに講師の説明に聞き入っていました。

観察会の後は小村氏からケシについて、和田氏から薬用植物を通じた自然観察について講演があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

講演後の質疑応答では、身近に生えている薬草についてや、薬草の使い方(煎じ方)また、青梅には毒があると聞いたが、いつごろつけ込めば良いのかといった質問が出されました。

終了後に実施したアンケートでは、多くの参加者から「内容はよかったです」「観察会と講演会の両方実施がよい」といった意見が寄せられました。



「県内医療・理工系学生のための工場見学・懇談会」開催される

去る9月15日（火）、本年度事業の一つである工場見学・懇談会が、久光製薬（株）宇都宮工場のご協力を得て開催されました。

平成17年度から工業会事業として開催しているもので、医薬品や化粧品等の製造工場を見学しています。

当日は、宇都宮大学工学部、国際医療福祉大学薬学部及び帝京大学理工学部の学生と関係者9名の参加がありました。

JR宇都宮駅東口に正午に集合し、貸切バスで柳田街道を通って30分ほどで清原工業団地内の工場に到着しました。田中工場長をはじめ工場スタッフの皆様の歓迎を受けた後、参加者一同で、昼食をいただきました。一息ついたところで、さっそく見学会・懇談会が開催されました。

薬事工業会の副会長でもある田中工場長から、主催者としてのあいさつの後、工場の概要説明をいただきました。江戸時代に創業し、昭和のはじめに、貼り薬の代名詞ともなっているサロンパスを発売したことなど、興味深い話が聞けました。そして、現在生産している商品に関する説明を受け、工場内の見学に移りました。

主に製造ラインの見学でしたが、貼り薬の製造工場は全国でも数少ないので、日頃お世話になっている貼り薬がどのように製造されているのかを目の前で見ることができ、参加者の皆さんのが驚きが伝わってくるようありました。

見学後は、斎藤事務局員の司会進行により、懇談会に移りましたが、参加者からは、「化学系の人間は医薬品業界ではどのような仕事をすることが多いのか」「貼り薬の使用期限はどのように決めているのか」「サロンパスの名前の由来は」といった質問が出され、工場側との活発な意見交換が行われました。もっと聞きたいこともあったようですが、午後3時30分に懇談会は終了しました。参加者の皆さんからは、終了後のアンケートでは、「工場の皆さんの親切な対応に感激した」「とても貴重な経験ができた」「今後もこのような企画をぜひ実施してほしい」といった感想が寄せられました。

最後に、今回の企画を快く承諾していただいた、久光製薬（株）宇都宮工場の田中工場長をはじめご担当者の皆様には多大なるご協力を賜りました。紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。



命のボランティア「骨髓バンク」にご登録を！

日本では、毎年約6,000人の方が白血病や再生不良性貧血などの重い血液の病気を発病し、そのうち約2,000人が骨髓提供者（ドナー）を探しています。

一人でも多くの方が骨髓バンクに登録し、一人でも多くの患者さんを救済できるよう、本県でも「骨髓バンク」事業を推進しています。

●事業所様にお願い

骨髓提供にあたっては、通常3～5日程度の入院が必要となるため、事業所の理解と協力が必要になります。事業所様におかれましては、是非、ボランティア休暇制度等の整備についても御検討くださいますようお願いします。

●ドナー登録ができる場所

県内の広域健康福祉センター（予約制）、栃木県赤十字血液センター、宇都宮大通り献血ルーム、県内の献血バスで受け付けています。

県内の献血場所の御案内 <http://www.jrcbc.jp/access.php>

◇問い合わせ◇ 栃木県保健福祉部薬務課温泉・薬物対策担当

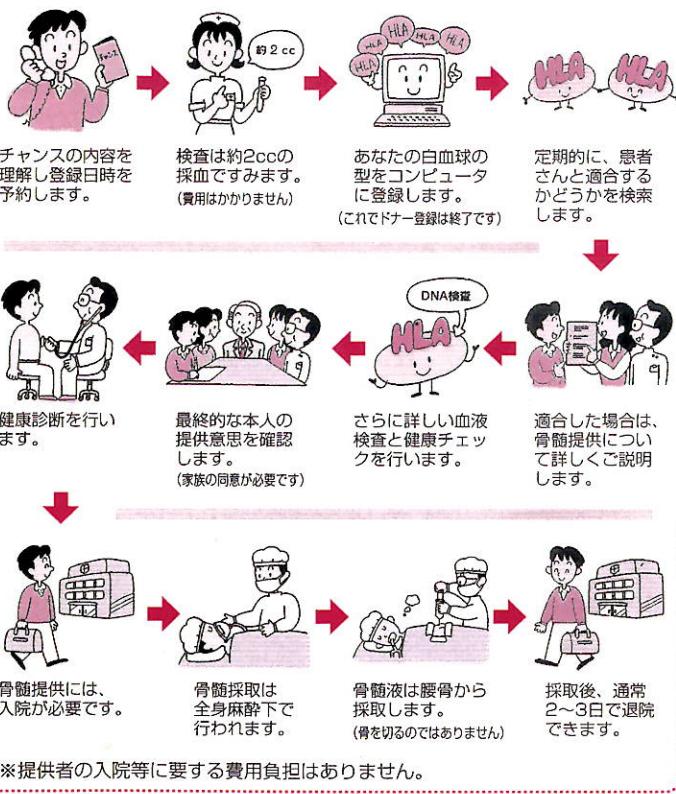
TEL 028-623-3119

登録から骨髓提供までの流れ

登録する前に、リーフレット「チャンス」を読むなど、内容についてよく理解し、ご家族とも話し合ってください。

※「チャンス」は骨髓移植推進財団のホームページ (<http://www.jmdp.or.jp>) で見られるほか、次ページの施設で配布しています。

ドナー登録から骨髓提供までのプロセスをご説明いたします。ドナーの善意が、こうして、患者さんに届けられ生きるチャンスを広げます。



もし、自分の家族や友人だったら…

赤血球にA・B・O型があるように、白血球にも、HLA型という型があります。HLA型は多数あり、その組み合わせは数万通りあります。兄弟間では4分の1の確立で一致しますが、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者（他人）では数百～数万分の1の確立でしか一致しないのです。

核家族化が進み、少子化の傾向にある日本では、家族の中に適合するドナーが見出せる患者さんは2～3割程度。

あなたの少しの骨髓が、だれかのいのちを救うこと。それは、一生のうちでも極めてまれな経験ではないかと思います。

どうぞ、骨髓バンクにご協力をお願いします！



※20歳から55歳までの健康な方

(登録は18歳から54歳まで)

- 骨髓提供の内容を十分に理解している方
- 体重が男性45kg、女性40kg以上の方

発行日 平成21年10月
発行所 栃木県薬事工業会
宇都宮市戸祭元町1-25
栃木県保健福祉会館内
TEL (028) 650-6163
E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp